

多摩地域の消費者活動オンラインセミナー 報告
プラスチックなくしたい！
～レジ袋削減の先へ～

日時:2020年9月7日 13:30～15:30
オンライン開催(ZOOM)
参加者:81名
主催:多摩地域の消費者団体交流会実行委員会
東京都消費者月間協賛事業

今年度は初めての試み、オンライン（フルリモート）での開催となりました。最初に、講師の高田教授が監修に関わっているプラスチックごみに関するDVDを観てから、高田教授に講演いただきました。休憩を挟んで取り組み報告として、コープデリ連合会の宮川さんからのお話があり、質疑応答となりました。参加者との直接の交流の時間は取れませんでした。質問をZOOMのチャット機能で受け付け、全ての質問にお答えいただくことができました。



司会:村橋 悠さん
東京三弁護士会多摩支部

開会挨拶



五十嵐 ちづ子さん
多摩コンシューマーズ・ネットワーク

多摩地域の交流会は 2012 年から毎年開催されています。市町村の問題や情報の意見交換を通して、行政との連携や消費者団体同士の連携を進めてきました。今回のテーマは「脱プラスチック」です。脱プラスチックに関して様々な意見がある中、なぜ、私たちが脱プラスチックを目指すのかを伝えることで、より良い暮らしと未来を目指していると考えています。

プログラム

- ☆DVD視聴
「プラスチックごみ 日本のリサイクル幻想」
- ☆講演「持続可能な社会とプラスチックフリー」
東京農工大学教授 高田秀重氏
- ☆コープデリの環境の取り組み
コープデリ連合会 宮川和之氏

「持続可能な社会とプラスチックフリー」
東京農工大学教授 高田秀重氏

日本はリサイクル先進国と言われていますが、プラスチックごみの半分以上（71%）が焼却（熱回収を含む）されています。プラスチックは石油から作られているので、燃やすということは石油を燃やすのと同じこと。地球温暖化につながっています。

プラスチックの問題は大きく2つ、海に流れるプラスチックごみが海洋生物に与える問題と、プラスチックの性能を維持する為に使われている化学物質が、人体に取り込まれてしまうことによる健康への影響です。海に流失したプラスチックごみによってどのような問題が起き、自然環境や人間を含む生物にどのような影響が生じているのかを知り、考え、行動を変えることが大切です。不必要なプラスチック製品は作らない、飲食容器等にプラスチックを使うことを避けるなど、無駄なプラスチックの使用をやめプラスチックの総量を減らすことが必要です。



容器包装プラスチックの削減の取り組み報告
コープデリ連合会 宮川和之氏

現在、4R+R リフューズ（断る）リデュース（減らす）リユース（繰り返し使う）リサイクル（再資源化）リニューアブル（再生可能資源活用）の取り組みを、組合員さんと一緒に進めています。又、商品の売り上げの一部を島に寄付する「美ら島応援もずくプロジェクト」にも取り組んでいます。寄付金は漂着ゴミの運搬・処理や砂地の浄化など、自然環境保護活動に活用されています。



釜井 英法さん
東京消費者充実ねっと

閉会挨拶

プラスチックの問題は、製品を作るところから変えていくことが重要ですが、製品の最終使用者である消費者もプラスチック製品の使用を必要最低限にしていく生活スタイルに変えていく必要がある。そして、そのスタイルをまわりに広げていくことが大切です。消費者団体が核となり、行政・国・社会を変えていけるように、今日のこの会がきっかけとなれたら幸いです。